

事業概要説明書 [1]		事業番号	2-1		
事務事業名	重度障害者福祉タクシー料金等助成事業	担当部名	福祉部		
事業開始年度	昭和 63 年度	担当課名	障害福祉課		
実施方法	補助	担当係	生活支援係		
根拠法令等	宮崎市重度障害者福祉タクシー料金助成事業実施要綱				
事業の概要	目的 〔 何のために 〕	外出困難な重度障害者の社会参加を促進する。			
	対象・手段 〔 誰(何)に対して、何をするのか 〕	<p>在宅の重度障害者に対し、初乗り料金相当のタクシー利用券の交付、又はガソリン利用券の交付を行う。</p> <p>〔助成対象〕 次の①～③のいずれかに該当し、且つ④を満たす者 ①身体障害者手帳1級又は2級所持者 ②療育手帳所持者 ③精神障害者手帳1級所持者 ④市県民税の所得割非課税者(20歳未満は世帯全員)</p> <p>〔手段〕タクシー利用券又はガソリン利用券の交付による助成 ○タクシー利用券:600円分を年間24枚交付(年額14,400円) ○ガソリン利用券:600円分を年間12枚交付(年額7,200円) ※有効期限は交付する年の7月1日～翌年の6月30日</p>			
	事業の必要性	<p>重度障害者が外出する際、公共交通機関の利用が困難な場合が多く、タクシーが最も利用しやすい移動手段である。また、家族等の支援を受けることで外出できている者もいる。</p> <p>通院その他の外出時において、タクシー利用は経済的負担が大きく、家族等が移動を支援する場合においても一定の費用を要することから、本制度は貴重な移動支援策であり、利用者からのタクシー券交付枚数・金額増の要望も根強く、障害者および介助者にとっての必要性は高い。</p>			
コスト	平成22年度(予算)		人件費		
	直接事業費	49,491 千円	職員構成	概算人件費 (平均給与×従事職員数)	従事職員数
	人件費	2,625 千円	正規職員	2,625 千円	0.35 人
総事業費	52,116 千円	嘱託職員	0 千円	0 人	
平成22年度 直接事業費内訳	<p>①タクシー券 助成額 43,179 千円 ②ガソリン券助成額 5,278千円 ③タクシー券 印刷費 693千円 ④ガソリン券 印刷費 341千円 ※その他の財源 国際障害者記念事業基金利子 720千円</p>				

事業概要説明書 [2]		事業番号	2-1		
年度		平成21年度(決算)	平成22年度(予算)		
直接事業費		48,936 千円	49,491 千円		
財源	一般財源	47,727 千円	48,771 千円		
	受益者負担金	0 千円	0 千円		
	その他	1,209 千円	720 千円		
成果目標 〔 どのような状態を目指すのか 〕	重度障害者の外出の機会を増やし、社会参加を促進する。				
成果実績 〔 成果目標の達成状況等 〕	[状況]	想定した成果を得ている。			
	[説明]	利用枚数は増加傾向にある。但し、九州内の政令市及び県庁所在地と比して、交付対象者1名あたりの利用金額については「9市中5位」であるなど、十分な助成額かどうかの検討の余地はある。			
成果指標 〔 事業の実績及び目標 〕	指標名 (下段: 指標の説明)	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度 (実績)	平成22年度 (目標)
	総利用枚数	枚	149,885	152,868	140,000
	タクシー券交付者一人あたりの利用実績額	円	9,870	9,815	9,000
事業の方向性 〔 事業の現状と課題、今後のあり方等 〕	21年度分のタクシー券の交付開始時からタクシー券に加え新たにガソリン券との選択制を設け交付開始した。当初は、タクシー券の選択者が大半を占めたが、その後、ガソリン券選択者の割合が徐々に増えてきたことから、ガソリン券の周知が図られつつあると考えられ、事業効果が見込める。今後も引き続き実施したい。				
特記事項 〔 参考情報等 〕					

重度障害者福祉タクシー料金等助成事業補助資料

【障害福祉課】

1. 経 緯

宮崎市では、昭和 63 年度より重度の障害者の社会参加の促進を目的として福祉タクシー料金等助成事業を実施しております。交付するタクシー利用券の利用については、毎年 7 月から交付を始めまして翌年 6 月までの期間でご利用いただけます。

また助成額につきましては、一人当たり原則、年間 14,400 円（600 円×24 枚綴り）となります。

更に昨年度（H 2 1 年度）よりタクシー料金の助成に加え新たにガソリン等給油のためのガソリン利用券、年間 7,200 円（600 円×12 枚綴り）を追加し、どちらかを選んでいただけるようにしました。

この助成事業につきましては、下の年度別実施状況表の数値のとおり毎年、徐々に増えている状況にありまして重度障害者の社会参加に対しまして一定の成果が得られているものと考えております。

■助成対象となる手帳所持者数

(人)

手 帳 種 別	年 度			
	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
身体障害者手帳 1 級・2 級	7,385	7,598	7,830	8,516
療育手帳所持者	2,192	2,272	2,390	2,641
精神保健福祉手帳 1 級	86	89	117	137
合 計	9,663	9,954	10,337	11,294

■福祉タクシー券等助成事業年度別実施状況

(単位：人、千円)

年 度 区 分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度		
			タクシー券	ガソリン券	合計
交付者数	4,201	4,610	4,316	576	4,892
交付金額	60,624	66,384	62,150	4,147	66,297
支出実額	41,310	45,500	44,822	3,197	48,019
利用率	68.1%	68.5%	72.1%	77.1%	72.4%

※平成 21 年度よりガソリン券との選択制を導入。

■全国の中核市の実施状況（実施している40市中、助成額の多い上位10市）※資料の内容は平成20年度データ

順位	自治体名	補助(助成)形態	助成額/人(円)	手帳所持者数(人)	対象者数(人)	総人口(人)	決算額(千円)	交付者数(人)
1	船橋市	タクシー料金	144,000 (最大)	18,458	9,604	595,820	49,047	14,979
2	柏市	選択(タクシー/ガソリン)	85,200	12,086	2,403	394,818	104,480	2,328
3	宇都宮市	タクシー料金	42,600	17,682	7,588	504,534	82,627	5,497
4	相模原市	選択(タクシー/ガソリン)	36,000	23,879	13,161	710,336	245,896	8,786
5	岡崎市	タクシー料金	36,000	14,347	10,256	376,179	82,063	4,734
6	川越市	併用(タクシー/ガソリン)	34,000	11,459	5,365	338,380	45,110	3,987
7	久留米市	タクシー料金	29,760	15,953	6,994	303,233	30,926	1,687
8	西宮市	選択(タクシー/ガソリン)	29,280	18,126	6,704	480,213	59,173	3,595
9	高槻市	タクシー料金	28,800	15,376	6,433	358,539	44,812	3,816
10	尼崎市	タクシー料金	28,320	26,804	11,288	462,470	46,967	3,307
29	宮崎市	選択(タクシー/ガソリン)	14,400	21,081	10,337	372,032	45,501	4,610

■九州内各県庁所在市及び政令市の実施状況(一人当たりの助成額の多い順)※資料の内容は平成20年度データ

順位	自治体名	補助(助成)形態	助成額/人(円)	手帳所持者数(人)	対象者数(人)	総人口(人)	決算額(千円)	交付者数(人)
1	北九州市	タクシー料金	31,200	62,733	23,915	981,200	85,767	4,296
2	久留米市	タクシー料金	29,760	15,953	6,994	303,233	30,926	1,687
3	福岡市	タクシー料金	26,400	60,975	19,285	1,440,809	73,950	4,921
4	熊本市	タクシー料金	17,640	35,545	18,191	670,670	54,897	6,573
5	宮崎市	選択(タクシー/ガソリン)	14,400	21,081	10,337	372,032	45,501	4,610
6	鹿児島市	タクシー料金	14,000	33,315	19,800	603,216	71,388	8,373
7	大分市	タクシー料金	13,750	24,906	9,590	472,808	65,998	3,525
8	佐賀市	タクシー料金	10,000	12,526	13,019	236,782	16,272	2,157
9	長崎市	タクシー料金	5,000	28,544	22,172	445,609	89,937	20,998

※那覇市は未実施